



発行所 愛媛県今治市大三島町宮浦
日本総鎮守 〒794-1393

大山祇神社社務所

電話 (0897)82-0032

F A X (0897)82-0019

<https://oomishimagu.jp/>

大三島海事博物館
大三島大社講



宮浦（みやうら）獅子

大三島大社講のご案内

大山祇神社は古くからこの大三島に鎮座し、日本総鎮守、伊豫國一宮と尊崇されてきた四国第一の古大社でございます。御祭神は大山積大神、またの名を和多志大神と申し、山岳を守護される神様であるだけでなく、五穀成就、海上安全、漁業満足、長命開運、造酒の守護神としても、広く知られております。古来、皇室を始め一般国民に至るまで崇敬が篤く、「大三島詣で」として知られ、遠近より参拝するものが絶えませんでした。そして崇敬者に満足を与え、便宜を図るため、昭和二年（一九二七）に当時の国幣大社大山祇神社の崇敬者団体として、大三島大社講は設立されました。皆様のご入講をお待ちしております。

【この講社の趣旨】

大三島大社講は大山祇神社の崇敬者を結集し、敬神崇祖の信念に基づき、至誠以て道義を高揚し神恩に奉謝し普く神人和力文明造化の真理を顕現し、大山祇神社の維持を図り次の事業を行う。

【この講社の主な事業】

- 大山祇神社の神徳昂揚
- 大山祇神社国宝重要文化財その他宝物保存修理

- 大山祇神社祭礼神事の保存
- 図書、雑誌の編集発行
- 講演会の開催
- 講社員募集並びに伝道
- その他本講社目的達成のために必要な事業

【入講後の主な待遇】

- 家内安全家業繁栄祈願祭斎行の上、大麻を奉送する。
- 講社大祭並びに毎月一日祭に講社員名簿を奉奠して家内安全家業繁栄の祈願祭を齋行する。
- 大山祇神社宝物館拝観優待券贈呈。
- 大三島海事博物館拝観優待券贈呈。
- 社報「大三島宮」を贈呈。
- 大三島暦を贈呈。
- 大山祇神社例大祭・講社大祭他の御案内

【ご入講の手続き】

- 名誉講社員 毎年 五十口以上
 - 特別講社員 毎年 五十口以上
 - 正 講社員 毎年 一口以上
- 但し、一口 金三千元也
- 入講に關しましては、当社までお問い合わせください。

〒七九四-1-13 三九三
愛媛県今治市大三島町宮浦三三三二七
大山祇神社内 大 三 島 大 社 講
TEL ○八九七-八二-〇〇三二
(午前九時～午後四時)



宝物館優待券



大三島暦

大三島大社講について、こちらよりご意見等お寄せください。入講の有無にかかわらず、どなたでもご回答いただけます。



挙 式

御神前で結婚式を挙げられた皆様のご多幸とご両家の弥栄をお祈り申し上げ、ここにご芳名をご紹介いたします。

令和五年

十一月 四日

大阪府 齊藤 翔太様
大阪府 烏羽 里奈様

千葉県 青野 寛之様
千葉県 神野 綾那様
十一月二十六日

高知県 菅 立人様
愛媛県 梅岡 真理様

令和六年

五月 十五日

広島県 佐々木隆洋様
岡山県 鳴川 栄子様

シンガポール

Peh Rui Xiang 様

シンガポール

青山 夏穂様

五月 十八日

愛媛県 藤田 尚典様
愛媛県 今田 萌様

五月 十九日

愛媛県 高橋龍之進様
愛媛県 阿部 紗奈様

九月 十五日

兵庫県 清水 源明様
兵庫県 加來真由佳様

―当社では、ご神前で行う挙式、神前結婚式を受け付けております。お申し込みをご希望の方は、当社までお問い合わせください。

挙式初穂料 十万円

お問い合わせ

大山祇神社社務所

TEL〇八九七―八二―〇〇三二

(午前九時～午後四時)



大山祇神社 挙式

検索

七五三詣のご案内

七五三は、子供たちの成長と健康の感謝、今後の成長と健康を祈る儀式です。一般的には、男の子は三歳と五歳、女の子は三歳と七歳にお参りするとされています。七五三祈禱を受けられたお子様には、御守、千歳飴(数に限りがございます)をお渡しいたしますので、どうぞご家族お揃いでご参拝ください。

また、当社指定の山口写真館にて七五三の記念撮影を受け付けております。ご希望の方は左記QRコードよりホームページをご参照ください。

山口写真館 TEL〇八九七―八二―〇〇二八
七五三期間…十一月三日(日・祝)～
十一月二十三日(土・祝)

受 付…午前九時三十分～午後四時
祈 禱 料…五千円
※個人の御祈禱は当日、社頭授与所にてお申込みください。

尚、祭典がございますので、御祈禱は左記の時間を避けてお申し込みください。

十一月 三日(日・祝) 午前十一時
二十一日(木) 正午～
二十二日(金) 午後一時
二十三日(土・祝) 午前十一時

山口写真館 結婚式ページ



山口写真館 七五三ページ



千歳飴と香袋

産須奈大祭(秋祭)

九月二十二日

九月二十二日、当社の産須奈大祭(秋祭)が盛大に執り行われた。

この秋祭は、国土安泰・五穀豊穰感謝・海上安全・民族の繁栄・農水産物の増産等を祈念するもので、氏子崇敬者、地域住民・島民らが参集し盛大に行われる。島内の十三地区に祀られる氏神社の氏子たちによって奉納される獅子舞や笛・太鼓のお囃子、だんじりや供奉行列を伴い島内を練り歩く様子は、一年で島内が最も活気を呈している期間といっても過言ではない。

二十二日の大祭当日に至るまで、獅子連

中の奉仕者たちは毎晩遅くまで練習を重ね、地区内には太鼓や笛の音が響いていた。そして大祭前日の二十一日、まだ夜が明けぬ午前四時三十分、【獅子宿門出祭】を行い、獅子らが練習拠点としていた宿元を発つ。次いで午前六時、当社にて【鎮疫宮出祭】を斎行。当社の御神札を獅子連中の持つ神明櫃に入れ、二日間、当社が鎮座する宮浦地区の氏子らの家々を巡りながら、獅子舞を奉納し、当社の御神札を頒布する。

また、大祭当日は当社から三基の神輿を

始め、多数の供奉奉仕者を伴い大三島台地区の三島神社への御旅、約六キロを練り歩いた。昨年同様、今年の産須奈大祭も雨が降ったり止んだりの難しい天候であったが、氏子崇敬者たちの熱い祭りに対する思いも鑑み、通常通りの斎行となった。境内は雨にもかかわらず、活気に満ちた氏子たちに溢れていた。

その日の夜には雨も止み、午後十時四十分、最後の神事である【鎮疫宮入祭】を斎行。二日間毎年恒例の「おしゃしゃのしゃんしゃん。もう一つ祝うて おしゃしゃのしゃんしゃん。」という独特な掛け声と、「しゃんしゃん」に合わせて打つ二度の手拍子にて、獅子連中の全ての行事を滞りなく執り納めた。



練習風景



鎮疫宮出祭



産須奈大祭 出御



鎮疫宮入祭



さかり 盛獅子



かみじょう しもじょう 上条・下条だんじり



みやいり 宮入祭前最後の宮浦獅子舞



宮浦獅子



大三島小 境内写生

九月九日、大三島小学校に通う五・六年生が境内にて写生を行った。境内の御神木である「小千命御手植えの楠」や、御本社拜殿、神門前に多くの子供たちが腰を据え、思い思いに筆を進めており、微笑ましい光景であった。

初詣・新年祈禱のご案内

新たな年を迎えるにあたり、左記のとおり対策を施して参りますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。

- ・混雑が予想されるため、マスクの着用は適宜ご判断ください。
 - ・当社境内では、並ばずに、御参拝ください。
 - ・御祈禱件数が多い場合にはお待ち頂く場合がございます。
 - ・お持ちの朱印帳への押印・墨書はご遠慮頂きます。事前に墨書した朱印紙(和紙)をお渡しします。
- (書置き対応とする期間につきましては、後日ホームページにてお知らせいたします。)

尚、三が日にこだわることなく日をずらしお参りなされても結構です。また、ご遠方の方や事情によりご参拝の叶わない方には、郵送による御祈禱を受け付けております。詳細は社務所までお問い合わせください。今後の状況により対応を変更する場合がございますので、ご参拝の際は当社ホームページを御覧ください。



並ばずにご参拝ください



新年祈禱の方には新年神符をお付けします

令和七年 厄年・年祝い

後厄	本厄	前厄
女性		
平成18年 20歳	平成19年 19歳	平成20年 18歳
平成4年 34歳	平成5年 33歳	平成6年 32歳
昭和63年 38歳	平成元年 37歳	平成2年 36歳

後厄	本厄	前厄
男性		
平成12年 26歳	平成13年 25歳	平成14年 24歳
昭和58年 43歳	昭和59年 42歳	昭和60年 41歳
昭和39年 62歳	昭和40年 61歳	昭和41年 60歳

白寿	卒寿	米寿	傘寿	喜寿	古稀	還暦
昭和2年 99歳	昭和11年 90歳	昭和13年 88歳	昭和21年 80歳	昭和24年 77歳	昭和31年 70歳	昭和40年 61歳

※数え年にて表記

今治市大三島支所臨時駐車場のご案内

お正月期間中の迂回路利用による渋滞緩和にご協力ください

大三島 IC ⇒ 大三島支所臨時駐車場 (大山祇神社まで参道を通り約1km)

《南回りルート》 15.5 km 約 21 分

【迂回路】大三島 IC～野々江地区～大三島支所臨時駐車場 (無料)

⑥ 今治市大三島支所 到着 (臨時駐車場)



⑤ 伊予銀行前の三叉路を左折



④ 幹線道路へ合流、右折



③ 三叉路を右折(「宮浦港」方面)



② 三叉路を右折



① 大三島 IC 出口を右折



また正月期間中、大三島 IC から当社までの道のは大変な混雑が予想されますので、迂回路をご利用ください。詳細は後日当社ホームページにてお知らせいたします。

当社ホームページではお知らせなど随時発信しております。こちらよりご覧ください。



二十三日	二十一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日	七日	六日	五日	四日	三日	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	
天長祭	月次祭	祈年祭	紀元宮遙拜	檀原神社	一宮	二宮	三宮	四宮	五宮	六宮	七宮	八宮	九宮	十宮	十一宮	十二宮	十三宮	十四宮	十五宮	十六宮	十七宮	十八宮	十九宮	二十宮	二十一宮	二十二宮	二十三宮	二十四宮	二十五宮	二十六宮	二十七宮	二十八宮	二十九宮	三十宮
祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭	祭

大三島宮祭事曆

令和六年十一月～令和七年二月

大祓のご案内

来る十二月三十一日夕刻より古式による師走の大祓おおぼえを厳修致します。

これは日常生活において、私共が知らず知らずのうちに触れてしまった自らの心身の穢れ、目に見えない諸々の罪・過ちを祓い、心身ともに爽やかに新年を迎えるための大切な神事です。人形ひとがた(ひとがた)紙を人の形に切り抜いたもの)にご自身の名前と生年月日を書き、その人形で身体を撫でて息を吹きかけ、罪穢つみけがれを人形に託しお祓いをします。

ご所望の方は人形をお渡し致します。ご不明な点等ございましたら社務所までご連絡ください。

〈申込先〉

〒七九四一―一三九三
愛媛県今治市大三島町宮浦三三二七
大山祇神社社務所
TEL ○八九七―八二一〇〇三二一



人形 (ひとがた)

編集後記

今年も最終号となりました。令和六年甲辰年きのえたつを振り返ってみます。

今年は、自然災害が印象的でした。元日の能登、春の豊後水道、夏の日向灘を震源とする大きな地震。日向灘の地震では初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表され、全国的に警戒感を強めたことかと思われます。また降雨による、松山や能登での土砂災害、首都圏を中心に連日ゲリラ雷雨のニュース、今夏も記録的な酷暑が続きました。今年の大三島の夏は梅雨明けから台風を除き、ほとんど雨が降らなかつたと記憶しております。

変わって、良いニュースを思い返してみますと、スポーツ系が多かつたですね。夏のバリ五輪。体操、柔道など、数々の名シーンが思い出されます。また、野球の大谷翔平選手も数々の記録を樹立し、明るい話題となりました。

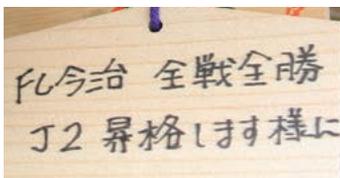
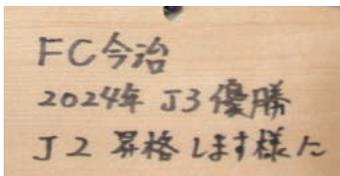
そして、毎年二月に当社で必勝祈願祭を行っておりますサッカーJ3の「FC今治」ですが、十月一日時点で、リーグ二位、J2昇格圏内のようなです。この調子で目の前の一試合一試合を確実に取り、今年のリーグ戦を晴れやかに走り抜けていただきたい

と思っております。「DO IT NOW!」というわけで、何かと苦勞の多かつた年でございました。各々環境は違いますが、応援してくれる周囲の方々のためにも、今の自分でできることを諦めず、明るい光を信じて前に進み続けましょう。来る令和七年は今年以上に皆様にとって努力が実り、笑顔溢れる年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

住所等の変更、送付物の停止等に関しましては、ご一報いただけますと幸いです。



↑アンケートはここから



選手ら奉納の絵馬 (今年二月)